

生駒市の地球温暖化に関するアンケート調査結果

1 調査概要

(1) 目的

地球温暖化に対する市民、事業者の意識、取組の実施状況、市の環境施策に対するニーズを把握し、「生駒市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に向けた基礎資料とすることを目的として、市民、事業者を対象にアンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象・調査期間・回答数

ア 市民アンケート調査

調査対象	住民基本台帳から無作為抽出した 18 歳以上の住民 1100 名に配布、SNS・HP 経由による回答者
調査期間	2024 年 9 月 20 日～2024 年 10 月 4 日 ※web 回答は 10 月 11 日まで
調査方法	二次元バーコードを貼付した調査票を郵送にて配布し、WEB 上と紙媒体のいずれかで回収
回答数	444 件

イ 事業者アンケート

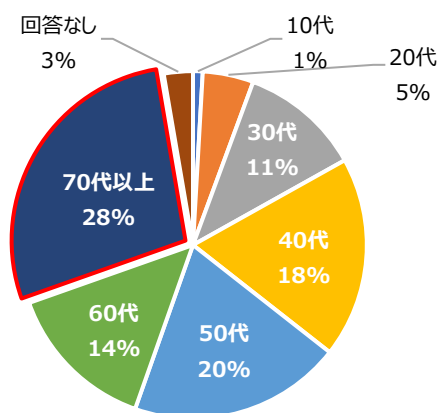
調査対象	生駒市商工会議所加入会員 100 社、SNS・HP 経由による回答者
調査期間	2024 年 9 月 20 日～2023 年 10 月 4 日 ※web 回答は 2024 年 10 月 11 日まで
調査方法	二次元バーコードを貼付した調査票を郵送にて配布し、WEB 上と紙媒体のいずれかで回収
回答数	67 件

2 市民アンケート調査結果

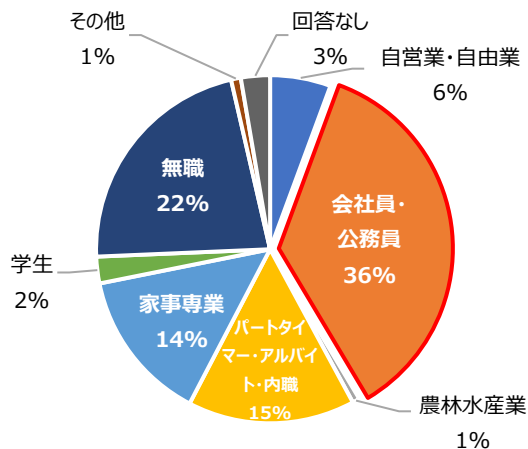
【質問1】ご回答者について、該当するものをお選びください。

(n=444)

① 年代



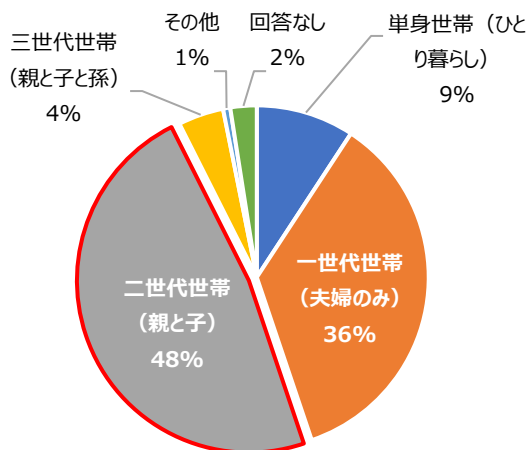
② 職業



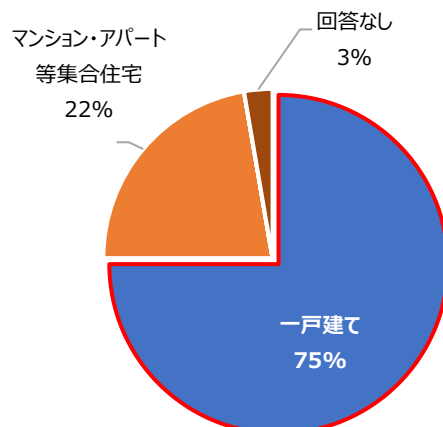
【その他】

- ・和裁仕立て
- ・団体職員
- ・年金受給者
- ・賃貸業

③ 世帯人数（回答者を含む）



④ 住居形態



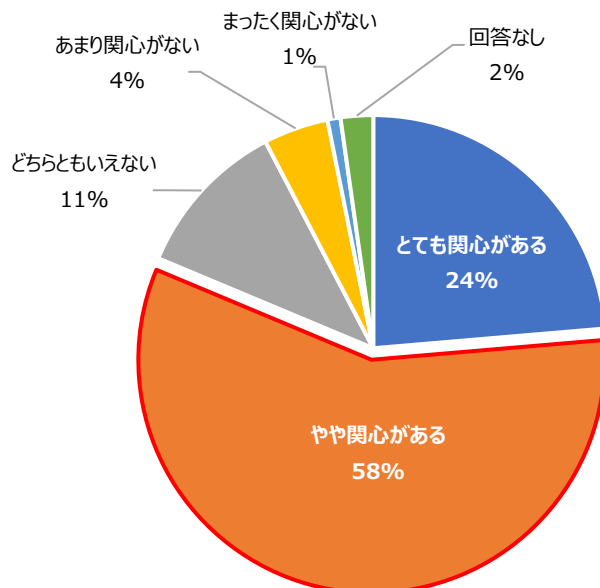
【その他】

- ・友人
- ・兄弟姉妹（2件）

【質問 2】 あなたは、環境問題にどの程度関心がありますか。

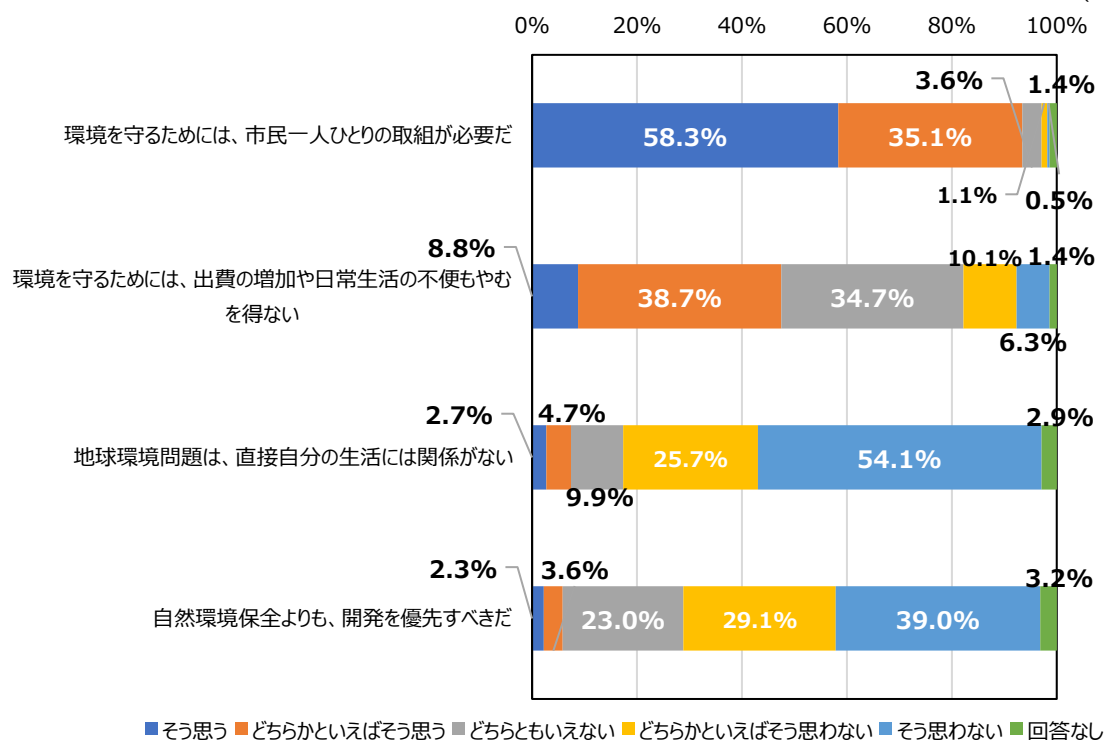
・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した項目は、「環境を守るためには、市民一人ひとりの取組が必要だ」が最も多く、次いで「環境を守るためには、出費の増加や日常生活の不便もやむを得ない」となった。

(n=444)



【質問 3】 環境に関する各項目について、あなたの考え方に近いものを選択してください。

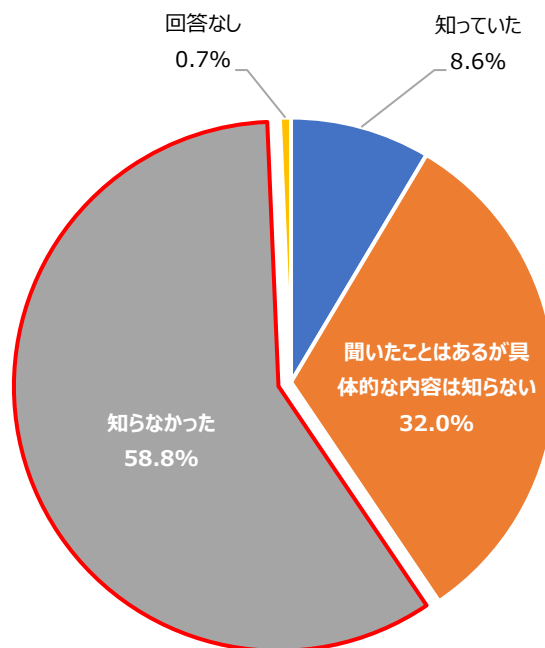
(n=444)



【質問 4-1】あなたは生駒市が「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050 年カーボンニュートラルを目指して取り組んでいることを知っていましたか。該当するものを選択してください。

・「知っていた」、「聞いたことはあるが具体的な内容は知らない」と答えた回答者は全体の 40.6%であった。

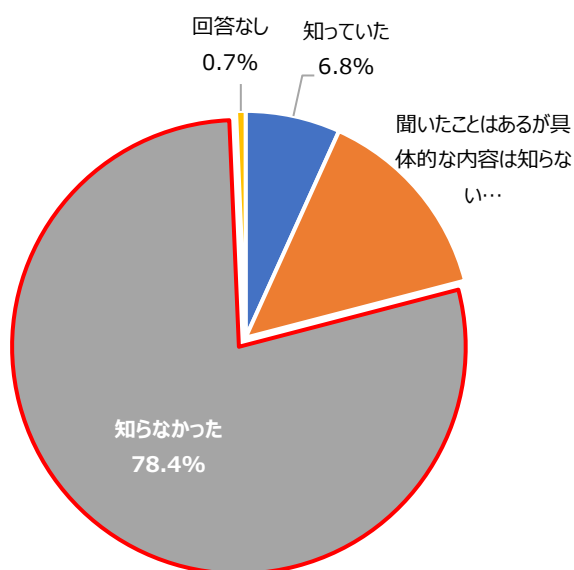
(n=444)



【質問 4-2】あなたは生駒市が国から「脱炭素先行地域」に選定されたことを知っていましたか。該当するものを選択してください。

・「知っていた」、「聞いたことはあるが具体的な内容は知らない」と答えた回答者は全体の 21.0%であった。

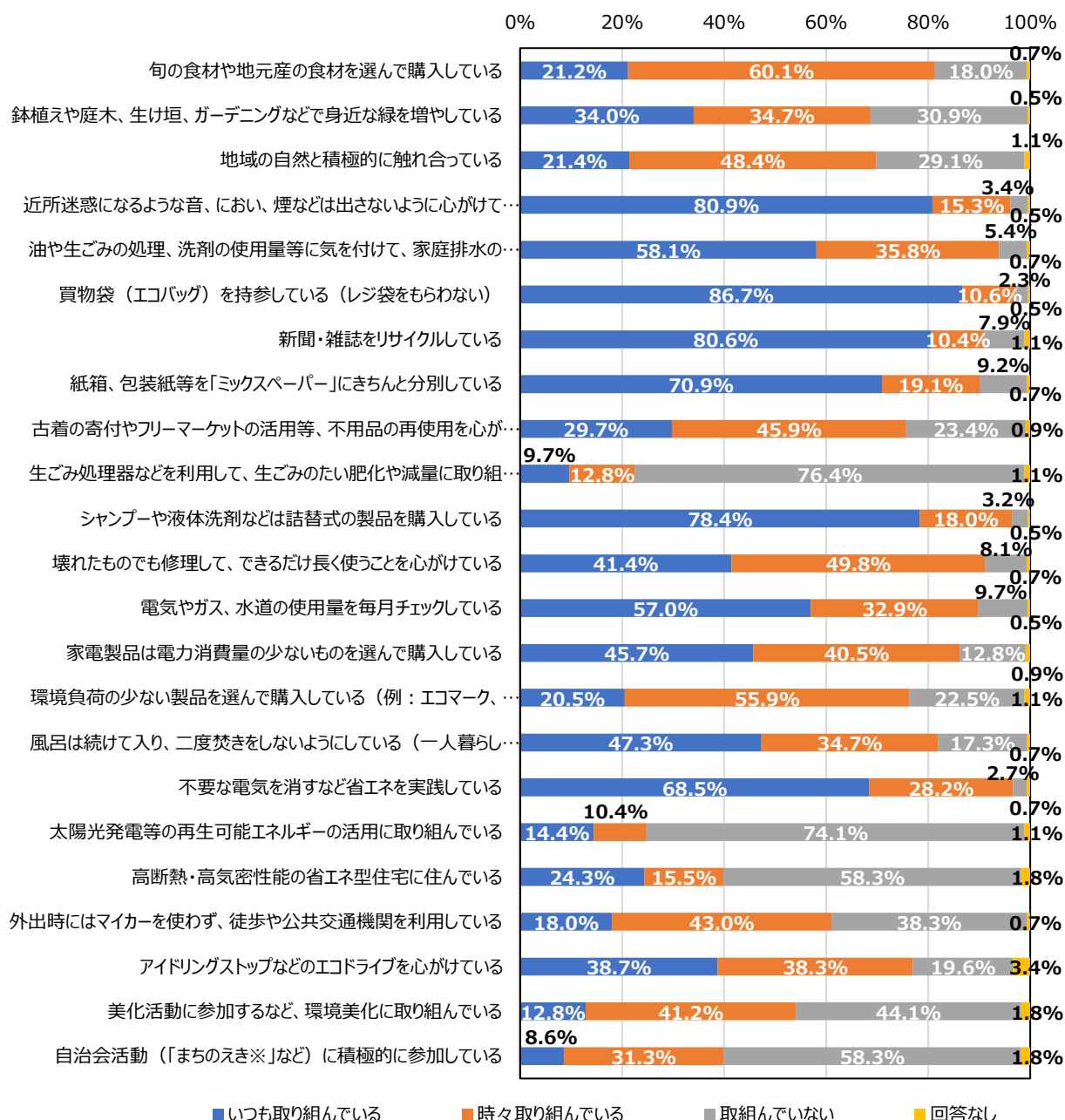
(n=444)



【質問 5】あなたは、生活の中での環境に関する行動について普段どの程度取り組んでいますか。各項目について、該当するものを選択してください。

・「いつも取り組んでいる」または「時々取り組んでいる」と答えた回答者が最も多かった項目は、「買物袋（エコバッグ）を持参している（レジ袋をもらわない）」が最も多く、次いで「不要な電気を消すなど省エネを実践している」、「シャンプーや液体洗剤などは詰替式の製品を購入している」となった。

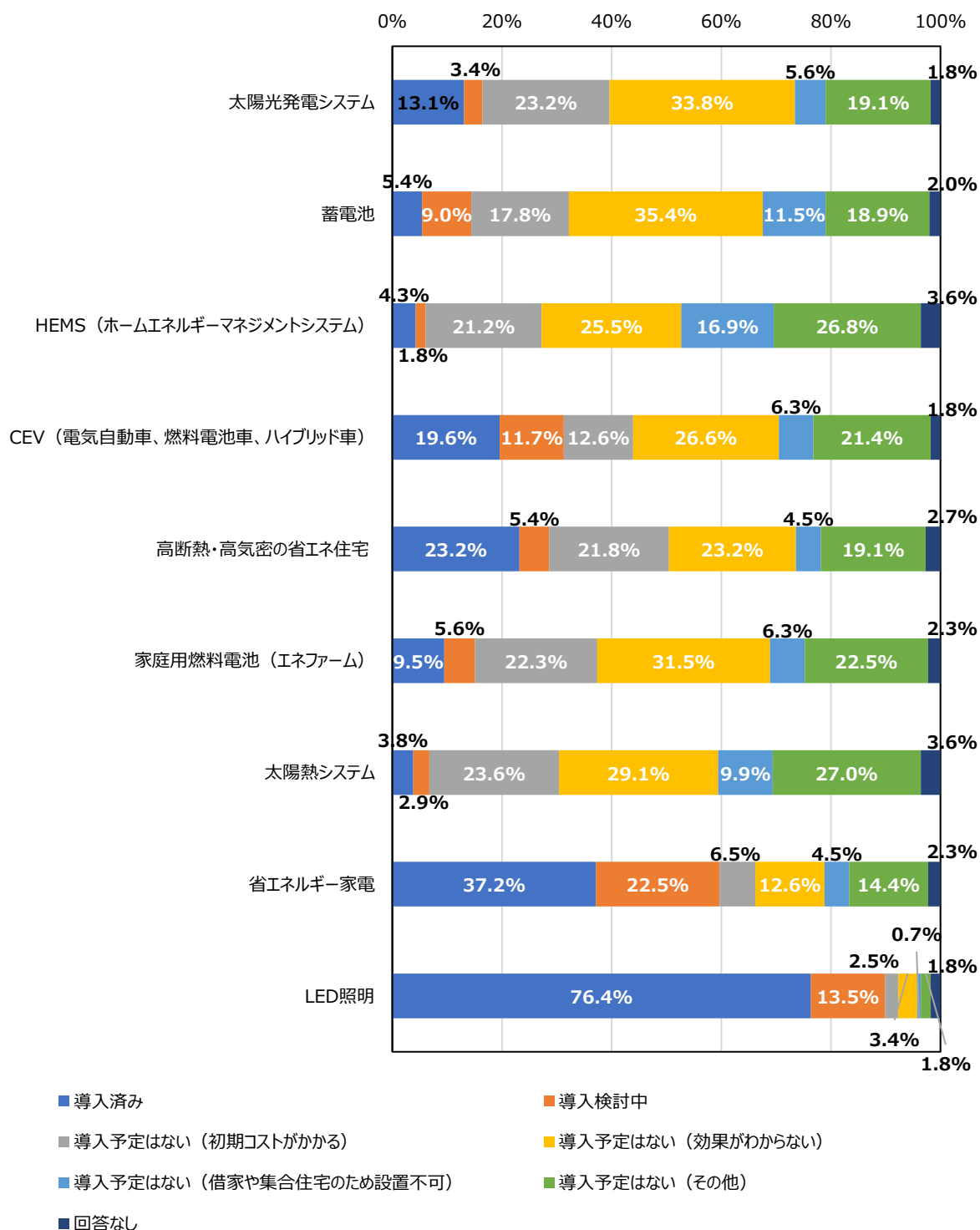
(n=444)



【質問 6】 あなたは次のような再生可能エネルギー・省エネルギー設備等を導入していますか。

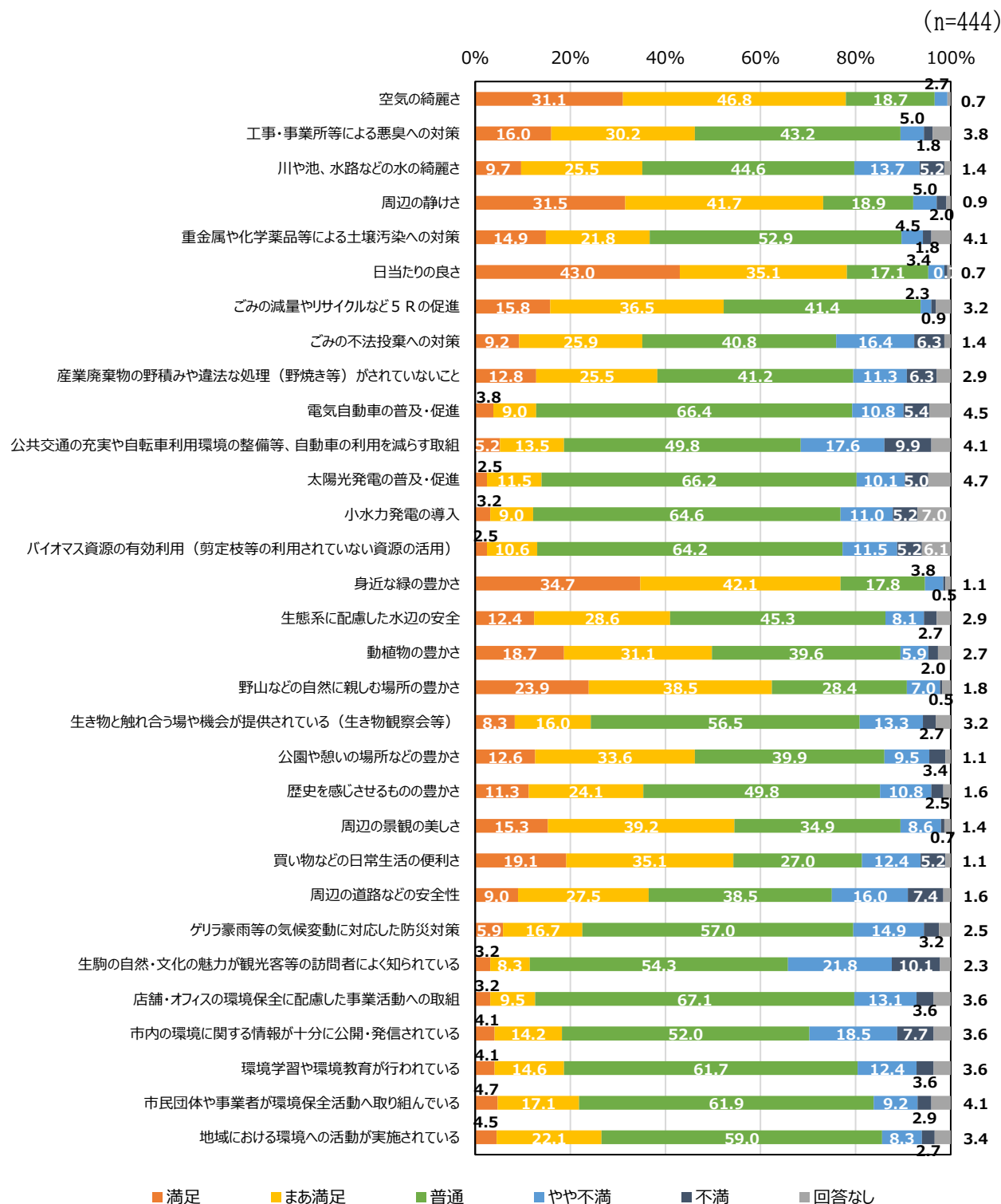
- ・「導入済み」と回答した項目について、「LED 照明」が 76.4%と最も多く、次いで「省エネルギー家電」、「高断熱・高気密の省エネ住宅」となった。
- ・「導入予定はない」と回答した項目について、「HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）」が 90.3%と最も多く、次いで「太陽熱システム」、「蓄電池」となった。

(n=444)



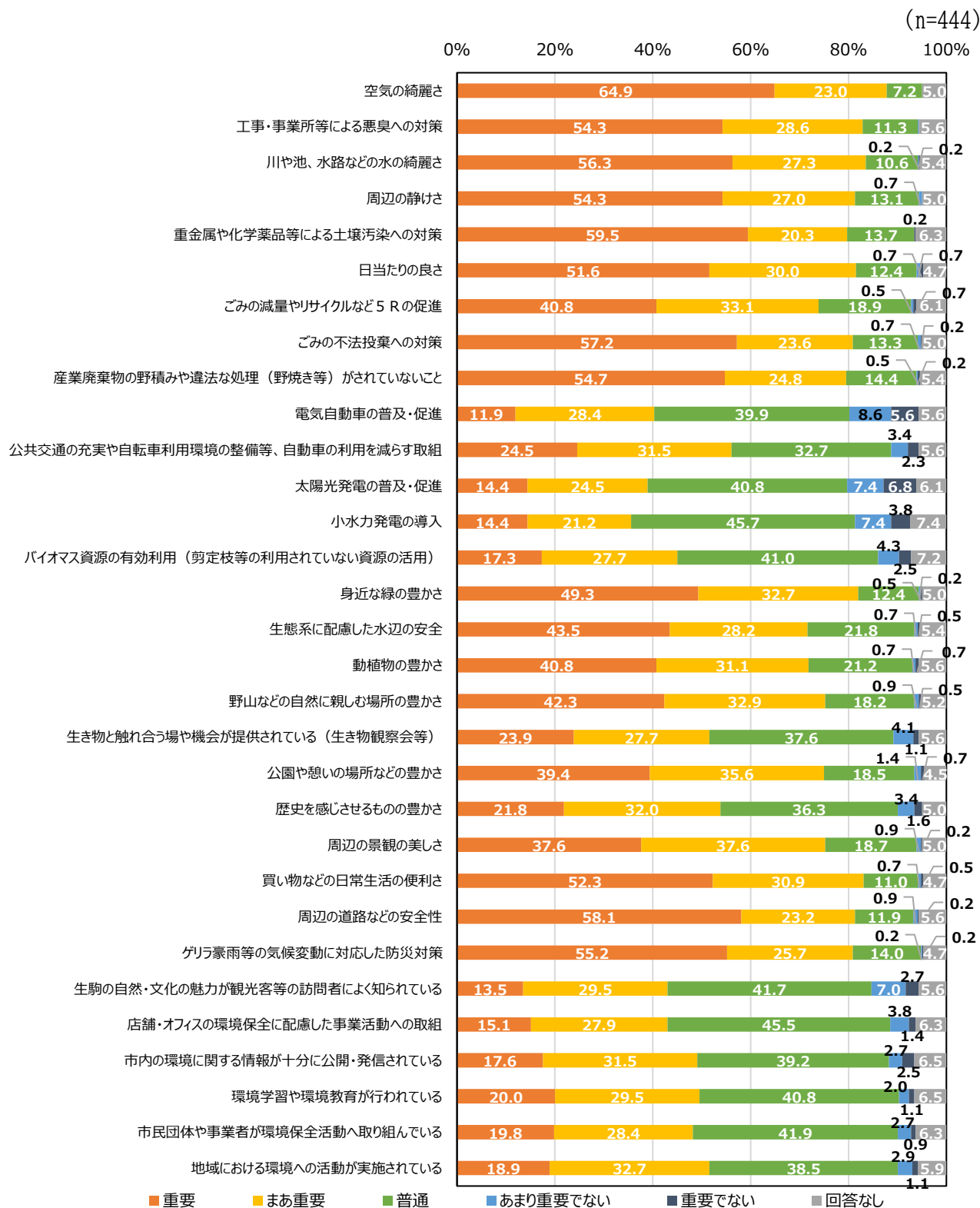
【質問 7-1】あなたは生駒市の環境に関する各項目の満足度について、日ごろどのように感じていますか。それぞれ該当するものを選択してください。

- ・「満足」、「まあ満足」と答えた回答者が最も多かった項目は、「日当たりのよさ」であり、次いで「空気の綺麗さ」、「身近な緑の豊かさ」であった。
- ・「不満」、「やや不満」と答えた回答者が最も多かった項目は、「生駒の自然・文化の魅力が観光客等の訪問者によく知られている」であり、次いで「公共交通の充実や自転車利用環境の整備等、自動車の利用を減らす取組」、「市内の環境に関する情報が十分に公開・発信されている」であった。



【質問 7-2】あなたは生駒市の環境に関する各項目の重要度について、日ごろどのように感じていますか。それぞれ該当するものを選択してください。

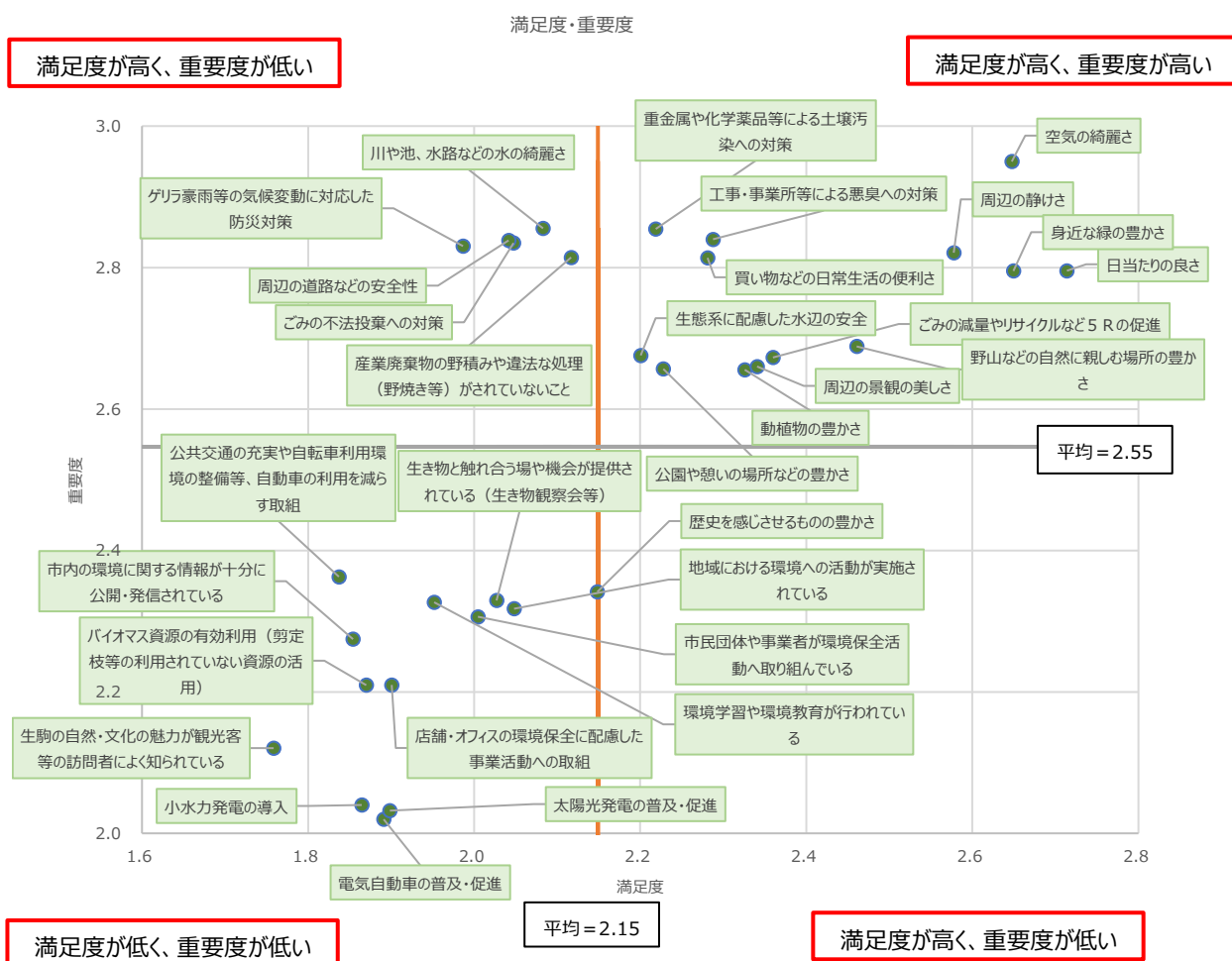
- ・「重要」、「まあ重要」と答えた回答者が最も多かった項目は、「空気の綺麗さ」であり、次いで「川や池、水路などの水の綺麗さ」、「買い物などの日常生活の便利さ」であった。
- ・「重要でない」、「あまり重要でない」と答えた回答者が最も多かった項目は、同率で「電気自動車の普及・促進」と「太陽光発電の普及・促進」であり、次いで「小水力発電の導入」であった。



【質問 7-1, 7-2 補足】あなたは生駒市の環境に関する各項目の満足度・重要度について、日ごろどのように感じていますか。それぞれ該当するものを選択してください。

- ・質問 7-1 において、「不満」～「満足」の選択肢をそれぞれ 1～5 ポイントに換算した場合、平均は 2.15 となった。
- ・質問 7-2 において、「重要でない」～「重要」の選択肢をそれぞれ 1～5 ポイントに換算した場合、平均は 2.55 となった。
- ・満足度および重要度を数値化し、4 象限のグラフにまとめたものが以下の通りであるが、優先度が高い項目（満足度と重要度がともに高い）項目は 31 項目のうち計 12 項目あった。

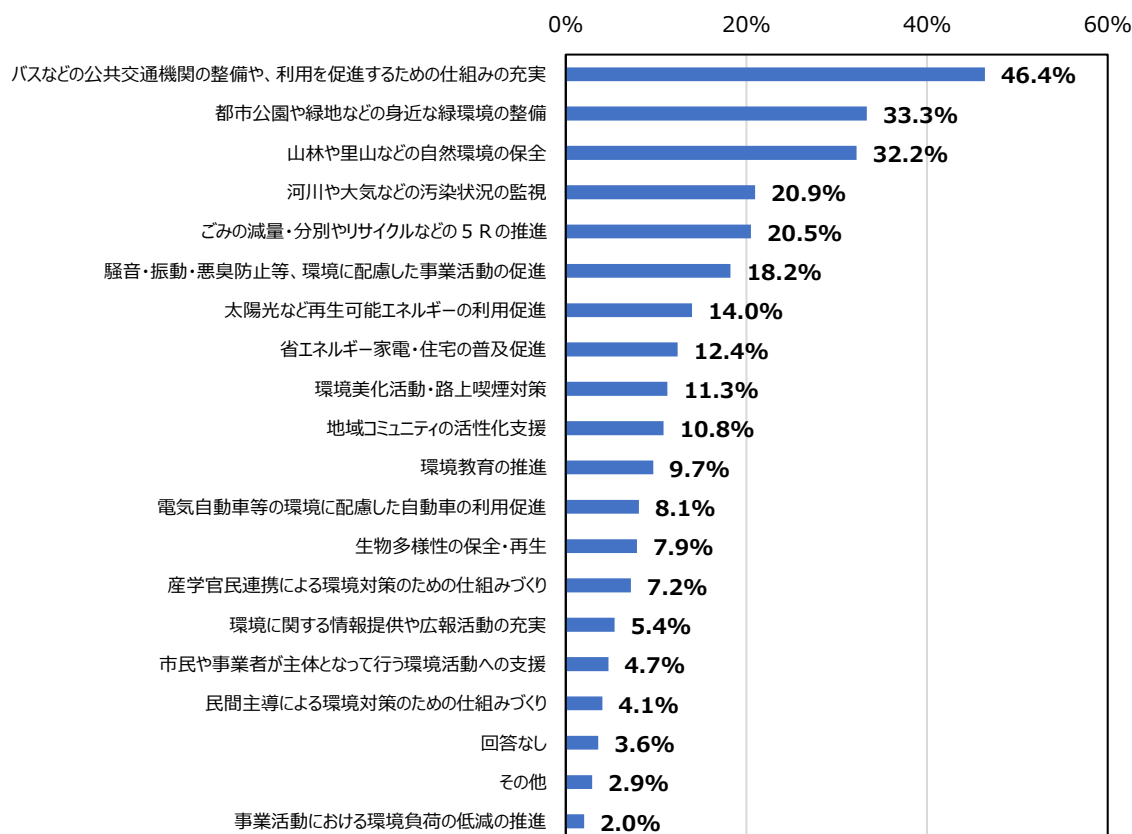
(n=444)



【質問 8】生駒市の環境をより良くするために、市が重点的に取り組むべき環境対策はどれだと思いますか。該当するものを“3つまで”選択してください。

・市が重点的に取り組むべき環境対策について市民が期待しているものは、「バスなどの公共交通機関の整備や、利用を促進するための仕組みの充実」が46.4%で最も多く、次いで「都市公園や緑地などの身近な緑環境の整備」、「山林や里山などの自然環境の保全」となった。

(n=444)



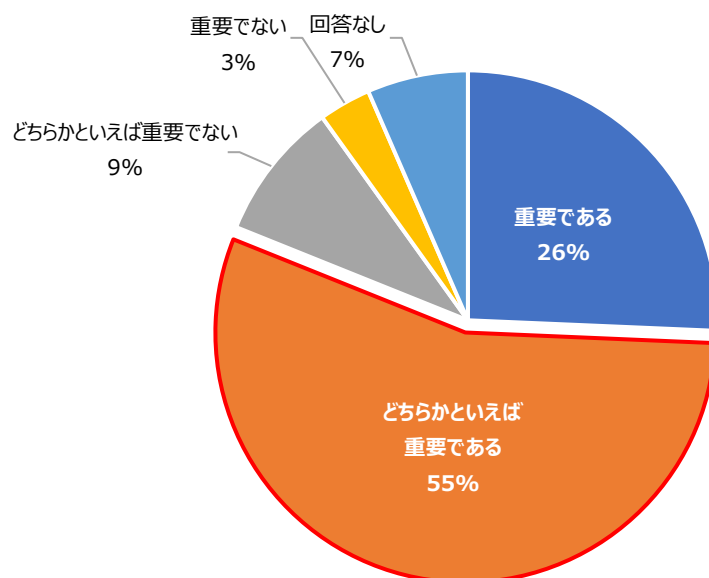
【その他】

- ・水素ステーション設置など新しい代替エネルギーへの対応
- ・車道、歩道の整備。ぼこぼこ道が多いので自転車やベビーカー、車椅子などの安全性が保たれない
- ・(空白)
- ・市の立ち位置・立場だからこそ、出来る、市側からの行政の力得を行使・発揮していただきたいです。
- ・水源（湧き水）を守る対策・実施。森林野山を破壊する太陽光発電を許可しないこと。
- ・水道水の安全性
- ・自然は大切だと思うのですが、マンションも街頭も少なく、一戸建ては雨戸をされているところが多く街全体が暗すぎる
- ・悪路（歩道含む・転倒します）の整備、外灯の設置を増やしてほしい（いのししに遭遇する危険もあります）
- ・土地開発による無謀な都市計画変更はすべきでない！緑と住環境を守るべし
- ・犬の放尿、フンの未処理問題（マナーの悪い方もおられます）
- ・道路状況（路面や街路樹・雑草の整備）の改善。市内、放置状態が目立つ。
- ・富雄川 PFAS 汚染マップでは 120ng/l 安心して水道水が使えません。
- ・住宅地でのエンジンつけたまま路駐する迷惑駐停車。特に子どもの習い事送迎で、親の立ち話が長い

【質問 9-1】 デジタル技術を活用したライフスタイルの変容が求められる中で、脱炭素化に向けたデジタル技術の重要性についてどう考えますか。

・脱炭素化に向けたデジタル技術について、「重要である」、「どちらかといえば重要である」と答えた回答者は全体の 81%であった。

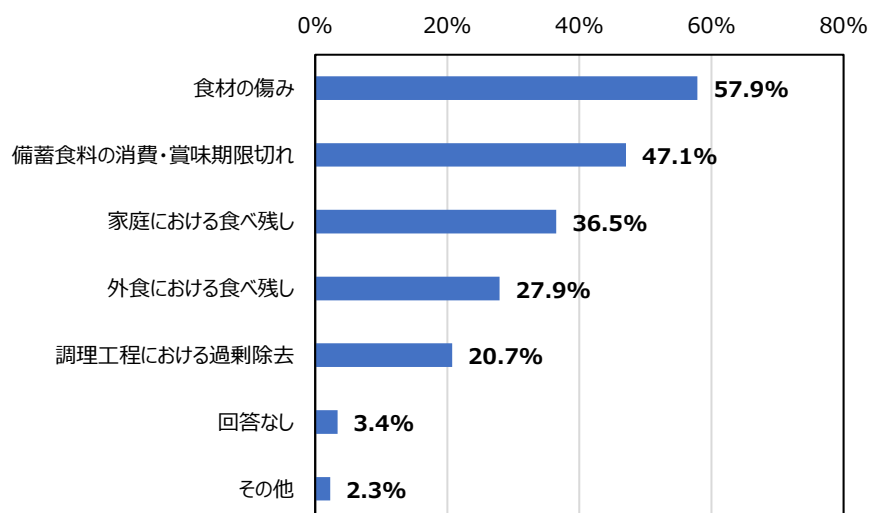
(n=444)



【質問 10-1】 日常生活のどのような場面で食品ロスが発生していますか。該当するものをすべて選択してください。(複数回答可)

・食品ロスが発生する場面として、「食材の痛み」が 57.9%で最も多く、次いで「備蓄食料の消費・賞味期限切れ」、「家庭における食べ残し」であった。

(n=444)



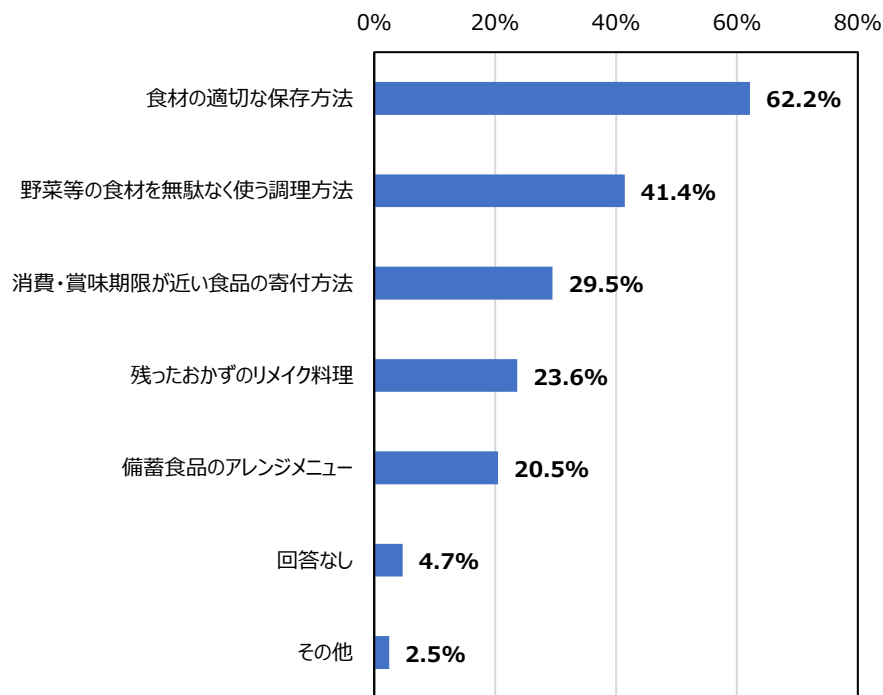
【その他】

- ・食品ロスは発生していない (8 件)
- ・買い過ぎ

【質問 10-2】食品ロス削減のため、どのような情報を取得したいですか。該当するものをすべて選択してください。（複数回答可）

・食品ロス削減のために取得したい情報として、「食材の適切な保存方法」が62.2%で最も多く、次いで「野菜等の食材を無駄なく使う調理方法」、「消費・賞味期限が近い食品の寄与方法」であった。

(n=444)



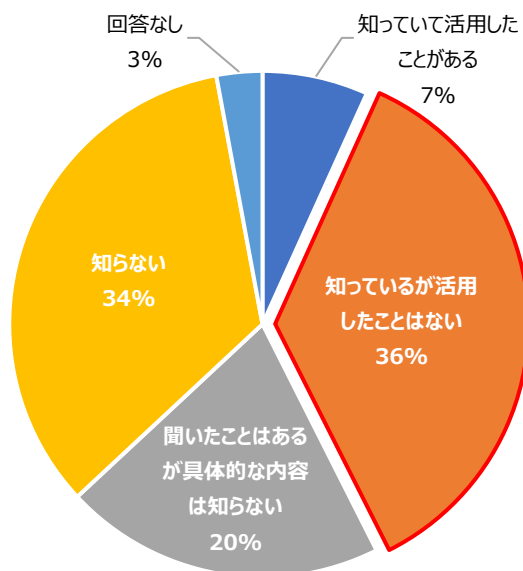
【その他】

- ・特になし（3件）
- ・スーパーやコンビニの食品類は足りないぐらいが丁度良い
- ・買い過ぎ
- ・特になし。戦争経験者の祖母に料理を教わったので、我が家では廃棄はほとんど出していない。品切れを許容し、消費者一人一人が旬や在庫に合わせて柔軟に暮らすことがカッコイイ、という雰囲気になればいいと思う。
- ・選び方
- ・家庭ではあまりでない。事業者在庫処分リサイクル方法の改善を希望します。
- ・事業所や販売店の取り組み等
- ・選択肢全てネットを見ればわかる

【質問 10-3】フードドライブについて知っていますか。

・フードドライブについて、「知っていて活用したことがある」と答えた回答者は全体の 7%であり、「知っているが活用したことはない」、「聞いたことはあるが具体的な内容は知らない」と答えた回答者の合計は全体の 56%であった。

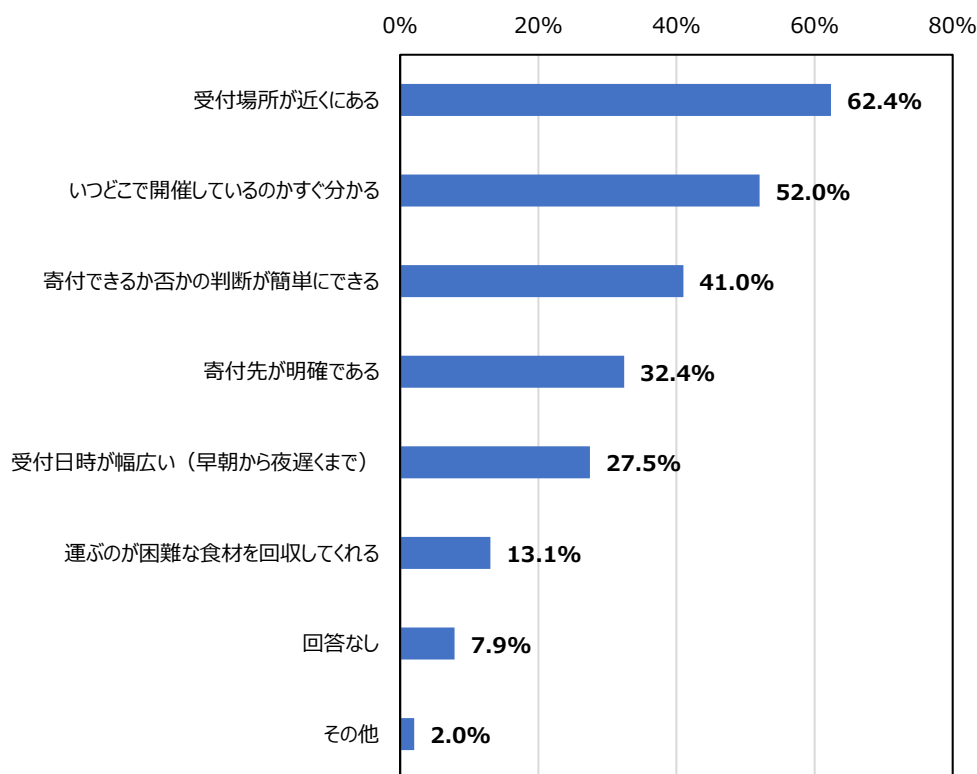
(n=444)



【質問 10-4】生駒市では、フードドライブ事業を行っています。どのような工夫があれば、フードドライブ事業に参加したいと思いますか。該当するものをすべて選択してください。(複数回答可)

・フードドライブ事業の参加を促す工夫について、「受付場所が近くにある」が62.4%で最も多く、次いで「いつどこで開催しているのかすぐ分かる」、「寄付できるか否かの判断が簡単にできる」であった。

(n=444)



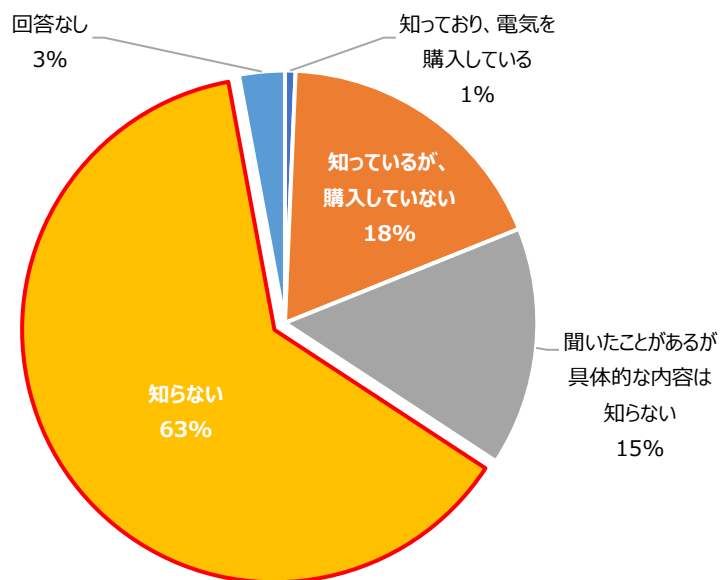
【その他】

- ・（空白）（2 件）
- ・食材を余らせることをしない（3 件）
- ・とにかく、情報が早く明確にほしいです。
- ・各自が完全消費すればフードドライブは成立しない。
- ・受付場所のどこで開催しているのかわかりやすく張り紙をする。または HP にのせる
- ・別段参加したいと思わない。

【質問 11-1】地域新電力会社「いこま市民パワー株式会社」を知っていますか。

・「いこま市民パワー株式会社」について、「知っており、電気を購入している」と答えた回答者は全体の 1%であり、「知っているが、購入していない」、「聞いたことはあるが具体的な内容は知らない」と答えた回答者の合計は全体の 33%であった。

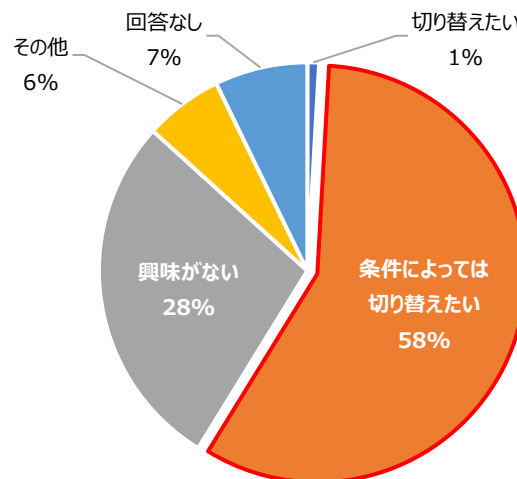
(n=444)



【質問 11-2】 再生可能エネルギーの電力プランへの切り替えについて、どう思いますか。

・再生可能エネルギーの電力プランへの切り替えについて、「切り替えたい」または「条件によっては切り替えたい」と答えた回答者は全体の 59%であった。

(n=444)

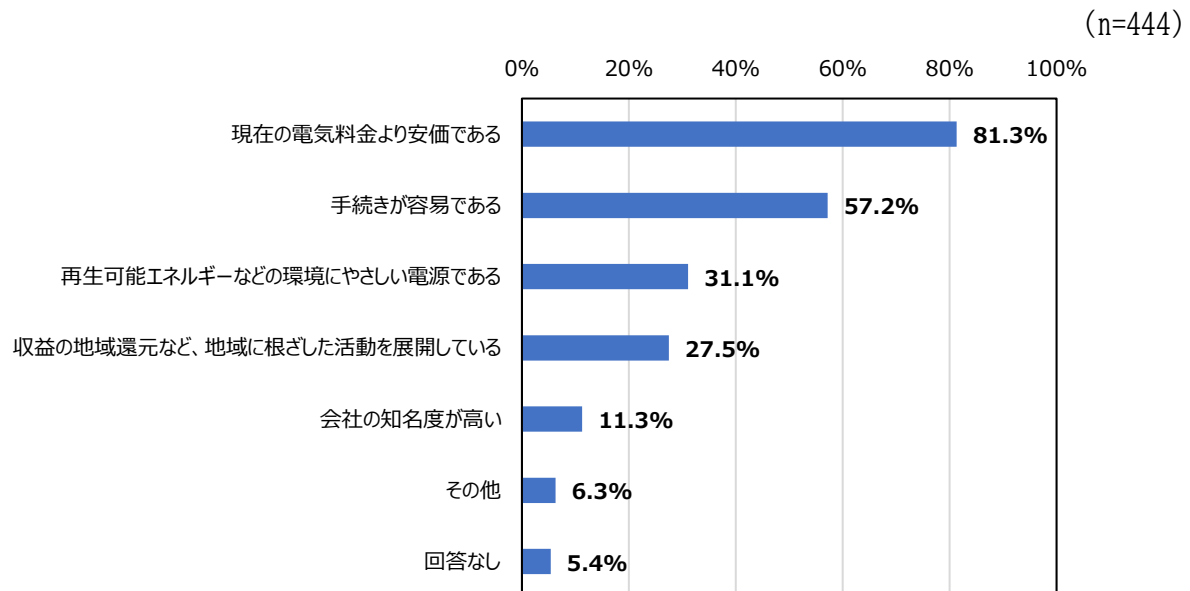


【その他】

- ・ わからない (9 件)
- ・ 導入済みのため切り替えはできない (3 件)
- ・ コスト増のため導入しない (2 件)
- ・ マンション、集合住宅のため、切り替えられない (2 件)
- ・ 温暖化ガスを吸収する森を守る事を最優先し、安易に判断したくない。
- ・ 決める立場にない
- ・ オール電化のためプランがなく切り替えできない
- ・ 今のもので満足です。
- ・ 高齢なので面倒
- ・ 一人暮らしで消費電力が僅かで関心に乏しい
- ・ できない
- ・ 太陽光パネルを設置しているのでいらない
- ・ 安定供給と蓄電性
- ・ 結果としてコスト UP になっていないか？電気料金（市民パワーから買う）＋税金（市民パワーへ投入された税）＞通常の電気会社から買う電気代
- ・ やっている

【質問 11-3】 電力購入先を切り替えるとしたら、どのような点を重視しますか。

・電力購入先を切り替える際に重視する項目について、「現在の電力料金よりも安価である」が81.3%で最も多く、次いで「手続きが容易である」、「再生可能エネルギーなどの環境にやさしい電源である」であった。



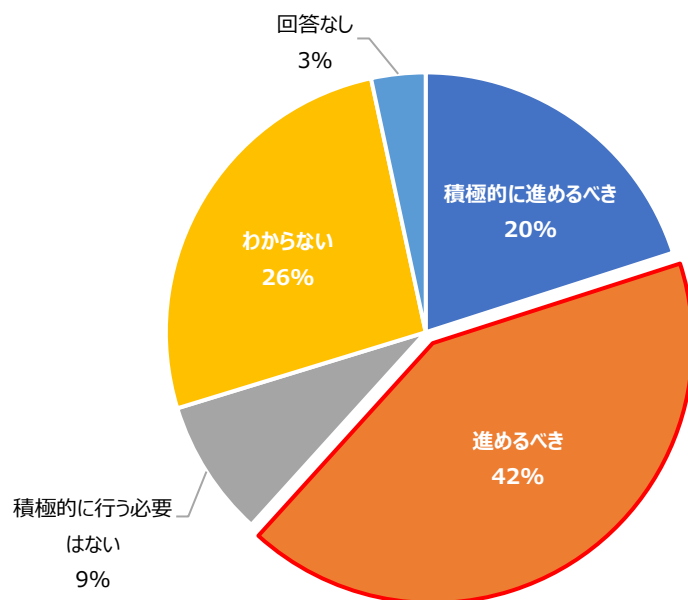
【その他】

- ・（空白）（2 件）
- ・安定した電力供給（8 件）
- ・災害時に復旧しやすいこと（3 件）
- ・現在大阪ガスと関電をまとめて引き落とししているので、同様にガスと引き落としをまとめられるとありがたい、他サービスとの連動性（2 件）
- ・再生可能エネルギーの内容が不明なので答えられない
- ・アメリカやヨーロッパの様な自由に選べる会社がない
- ・信用
- ・今のところ切り替える必要を感じていない
- ・とにかく面倒なので、しない
- ・安価であるというのではなく何か災害などが起きた場合電力は電力専門の会社・ガスはガス専門の会社になっていた方が安心できる
- ・太陽光発電を導入していても加入できる
- ・イニシャルコストの低さ
- ・わからない
- ・会社の安全性
- ・今のところ興味ない

【質問 11-4】地域への再生可能エネルギー普及についてどう考えますか。該当するものを選択してください。

・地域への再生可能エネルギー普及について、「積極的に進めるべき」または「進めるべき」と答えた回答者は全体の 62%であった。

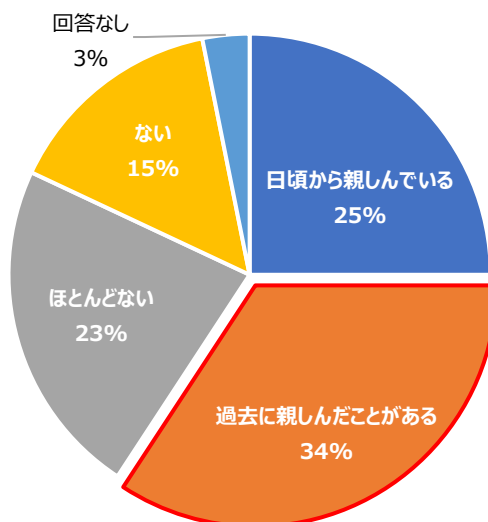
(n=444)



【質問 12-1】市域で自然とふれあい、親しんだ経験はありますか。

・市域での自然とのふれあいについて、「日頃から親しんでいる」または「過去に親しんだことがある」と答えた回答者は全体の 59%であった。

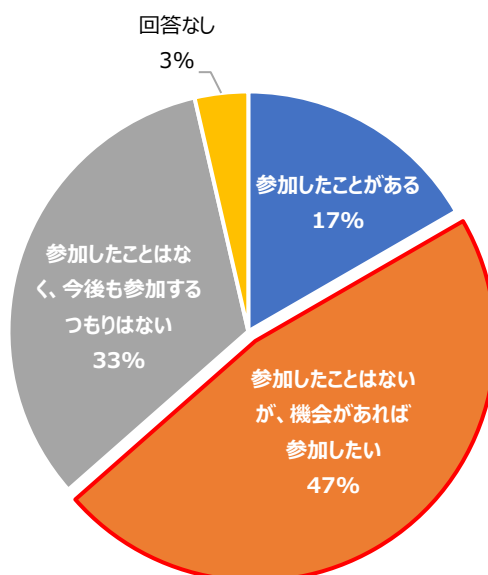
(n=444)



【質問 12-2】自然体験学習や交流会に参加したことはありますか。

・自然体験学習や交流会について、「参加したことがある」または「参加したことはないが、機会があれば参加したい」と答えた回答者は全体の 64%であった。

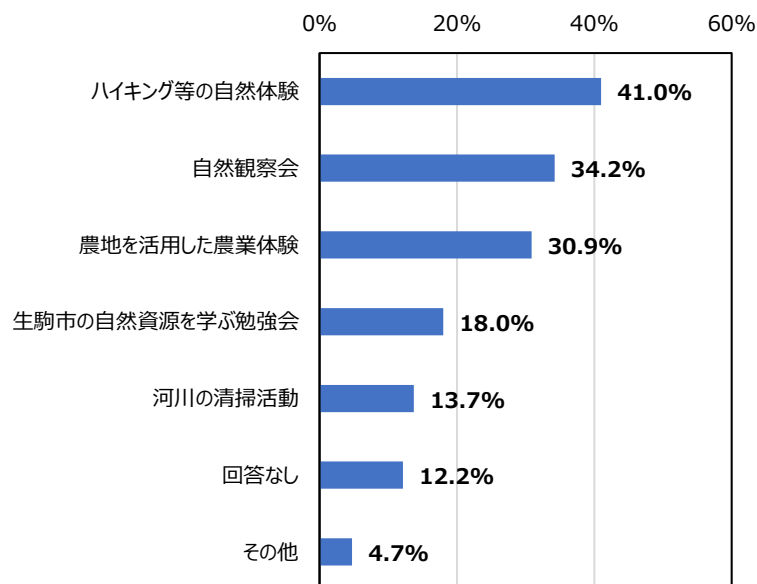
(n=444)



【質問 12-3】どのような体験学習、交流会に参加したいですか。該当するものをすべて選択してください。（複数回答可）

・参加したい体験学習、交流会について、「ハイキング等の自然体験」が41 で最も多く、次いで「自然観察会」、「農地を活用した農業体験」であった。

(n=444)

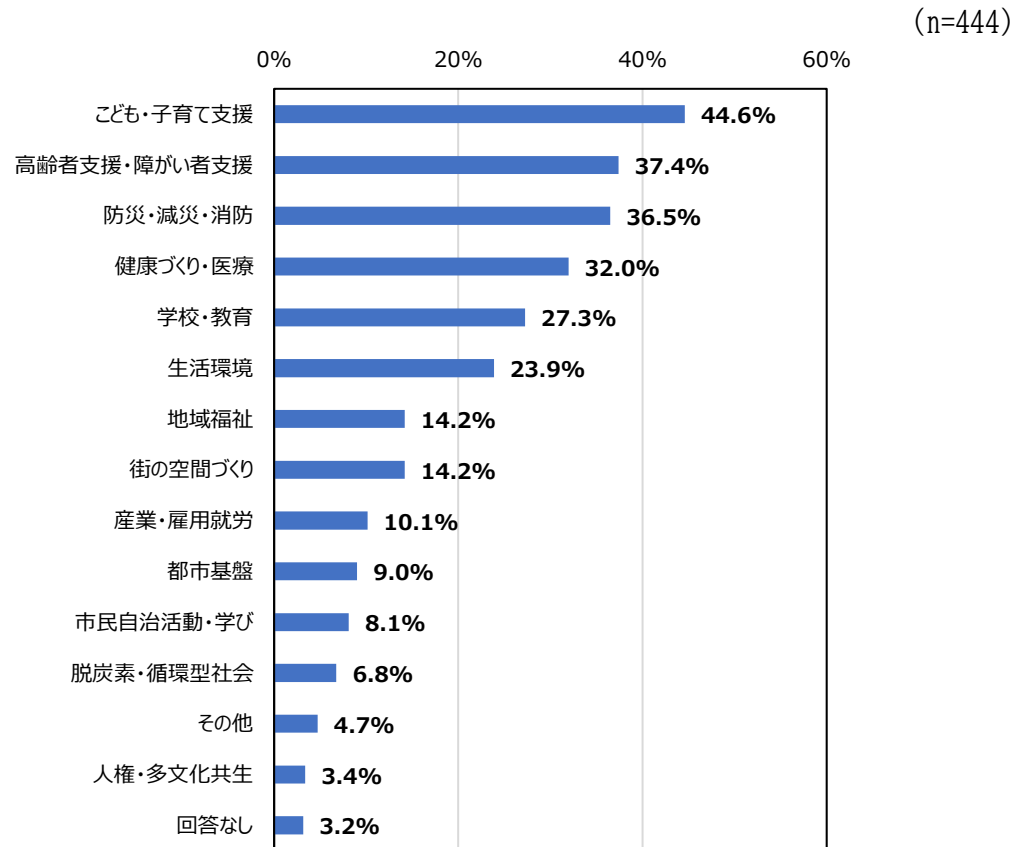


【その他】

- ・（空白）
- ・なし（6 件）
- ・参加したくない（2 件）
- ・ちょっとした水辺に住む水生昆虫を探すなど、身近な生き物を感じたい。
- ・里山保全・体験活動
- ・家族・知人・友人のみで参加できるクローズな体験会
- ・参加不可能
- ・歩行が困難なため
- ・体力的にむりです
- ・桜井市のウォーキングフェスティバルみなたいなのが良いと思う
- ・個人でトラッキング
- ・年齢的に無理だし足の骨折も経験
- ・家庭菜園をしている。高齢化により竹林や樹木が整備されていない。体力があれば整備活動をしたいが。
- ・地域のごみ拾い
- ・今の生活で忙しすぎて参加できない

【質問 13】生駒市が今後力を入れていくべき施策は何だと考えますか。該当するものを“3つまで”選択してください。

・市が今後力を入れていくべき施策について、「こども・子育て支援」が44.6%で最も多く、次いで「高齢者支援・障がい者支援」、「防災・減災・消防」であった。



【その他】

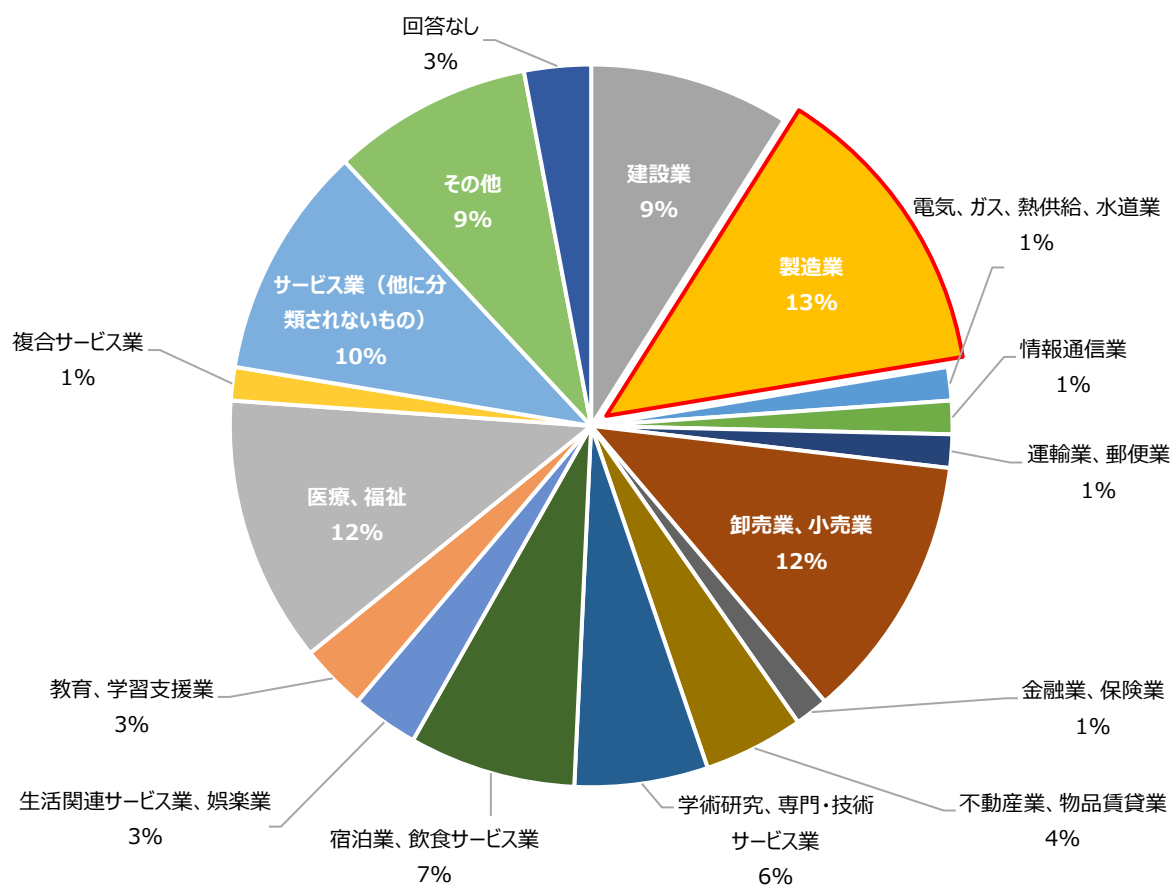
- ・ 生駒インターチェンジ周辺のハード面での渋滞緩和、辻町インターチェンジのフルインター化、ファミリーマート生駒東松ヶ丘店から生駒駅までの車道及び歩道の拡幅、子育て支援拡充、家の購入補助金制度の拡充
- ・ 自然保護、動植物保護
- ・ 少なくとも生駒市公園駐車場の無料化
- ・ 自然環境保護、活用
- ・ 観光
- ・ 消費税をなくし公共料金をもっと安くして欲しい
- ・ 生駒市にある史跡の整備
- ・ なるべく自然環境を残した上での開発
- ・ 高齢化対策。周辺からの住民誘致で人口増加。
- ・ 低額住民税へ
- ・ 市役所の職員の正しい雇用
- ・ 引越したところより当たり前に道路にゴミが捨てられていて悲しい。ゴミが有料化になって更に増えた気がするののでいこまち等で取り上げてほしい
- ・ 過疎地域に目を向けること。切り捨てないこと。発展させていくこと。
- ・ 矢田丘陵遊歩道の修理と保全および奈良交通バスあすか団地口～稲倉間の歩道の幅拡張も整備。歩道の幅が狭くなっている。木々の枝が垂れ下がり顔に当たる。
- ・ 犬のフン対策。道路に放置していて夜暗くて見えず踏んでしまいます。谷田町付近は多いと感じます。
- ・ 歩きやすい歩道の整備は急ぐ（特に中心部以外）
- ・ わからない
- ・ 物価が上昇した場合、外国人の生活を安定させるためにもっと配慮してください
- ・ 街の外灯が生駒市は暗すぎる。奈良市のように LED で安心な外灯にしてほしい。（奈良市は自治会や市で管理している。）空地や空家が放置されていて草や木がそのまま生駒市は放置、管理してほしい。
- ・ 最近特に山林開発がなされ緑が少なくなっているように思います。もっと緑を残す政策が必要だと思います。
- ・ 調理道具、工具など大きくてたまにしか使わないものを貸出 or 公民館等で使用できるようにしてほしい（味噌づくりの大豆をつぶす機械があると良いなと思っています）

3 事業者アンケート調査結果

【質問1】 貴事業所について、該当するものを選択してください。

(n=67)

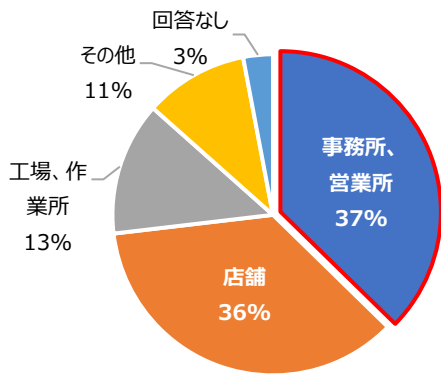
① 業種



【その他】

- ・ 非破壊検査業
- ・ 自動車の電気系統の修理販売です。
- ・ 保育施設
- ・ 協同組合
- ・ 自動車整備業
- ・ 石綿建材調査・除去・測定

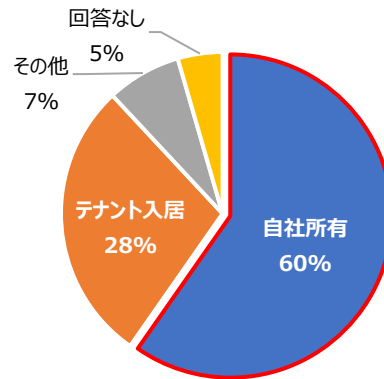
② 事業所の形態



【その他】

- ・ 自営業者
- ・ 工場及び事務所
- ・ 自宅
- ・ 工場・店舗
- ・ 介護老人施設
- ・ 保育施設
- ・ 福祉施設

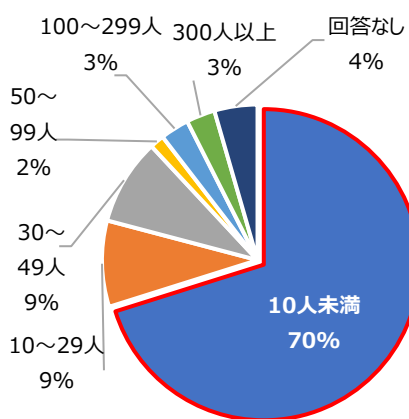
③ 入居形態



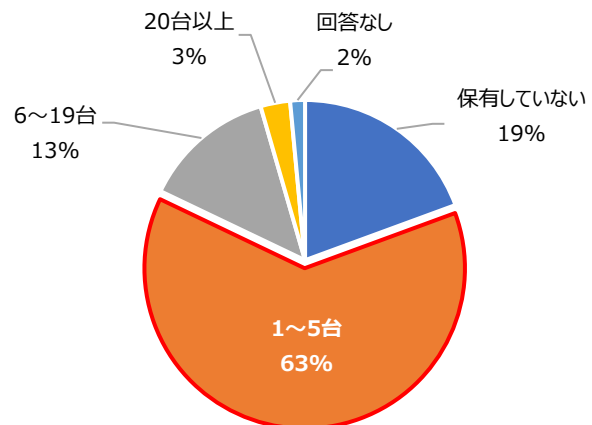
【その他】

- ・ 敷地借地、建物自社
- ・ 自宅
- ・ 郊外型賃貸借
- ・ 自宅兼用 (S0H0)
- ・ 貸事務所

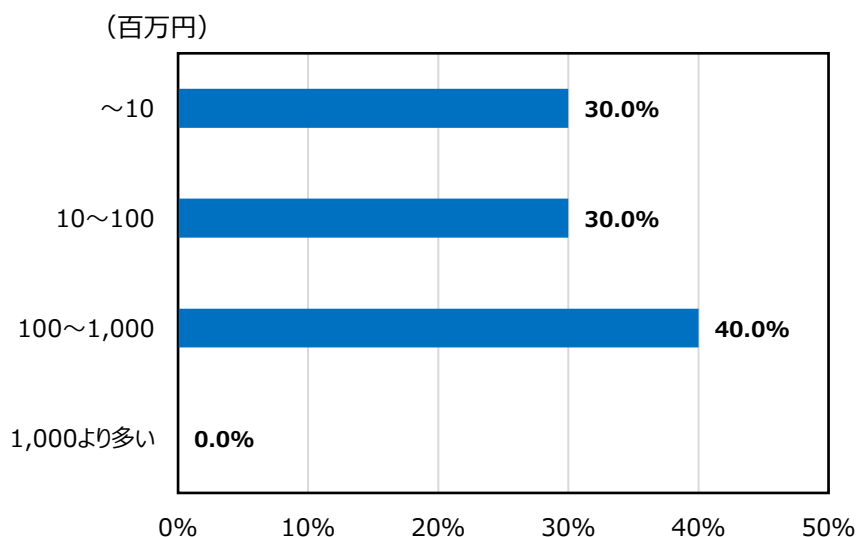
④ 従業員数



⑤ 業務自動車の保有台数



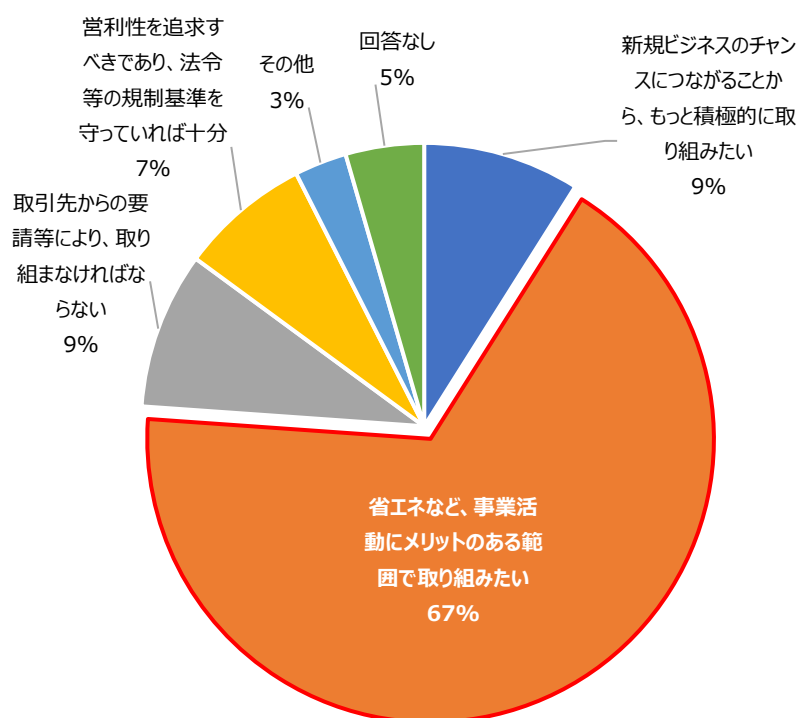
⑥ 製造品出荷額



【質問 2】 貴事業所では、事業活動における環境配慮について、どのようにお考えですか。

・事業活動における環境配慮について、「新規ビジネスのチャンスにつながることから、もっと積極的に取り組みたい」、「省エネなど、事業活動にメリットのある範囲で取り組みたい」と答えた回答者は全体のうち 76%であった。

(n=67)



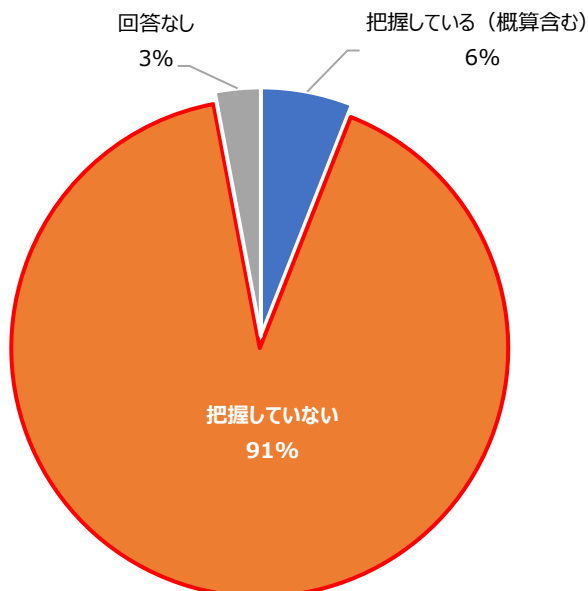
【その他】

- ・一人で営業しているため可能な範囲で取り組みたい
- ・園児たちの未来のためにも、出来る事から取り組みたい

【質問 3】 貴事業所では、温室効果ガス排出量の把握をしていますか。

・温室効果ガス排出量について、「把握している（概算含む）」と答えた回答者は全体の 6%であり、「把握していない」と答えた回答者は全体の 91%であった。

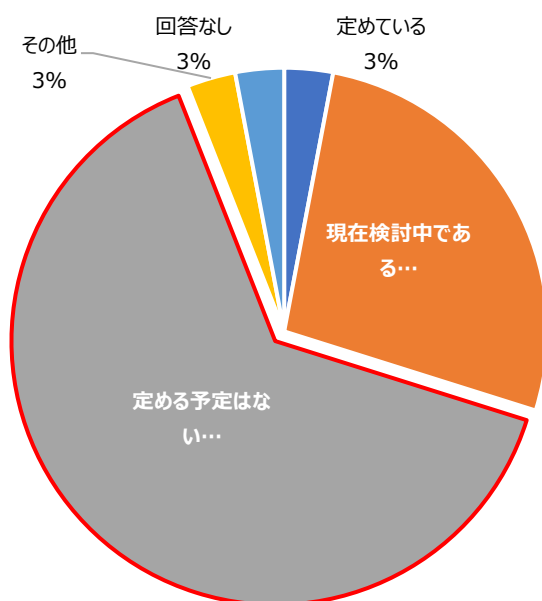
(n=67)



【質問 4】 貴事業所では、温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を定めていますか。

・温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を定めていると答えた回答者は全体の 3%であり、検討中も含めて 30%の回答者が前向きな姿勢である。

(n=67)



【その他】

- ・ 大事な問題と認識しているが、なかなか取り組めていない。
- ・ エアコンの設定温度

【質問 4 追加質問】 目標や方針をご回答ください。（※質問 4 で「定めている」と回答した方のみ※）

【回答】

・ 205012254

・ 20

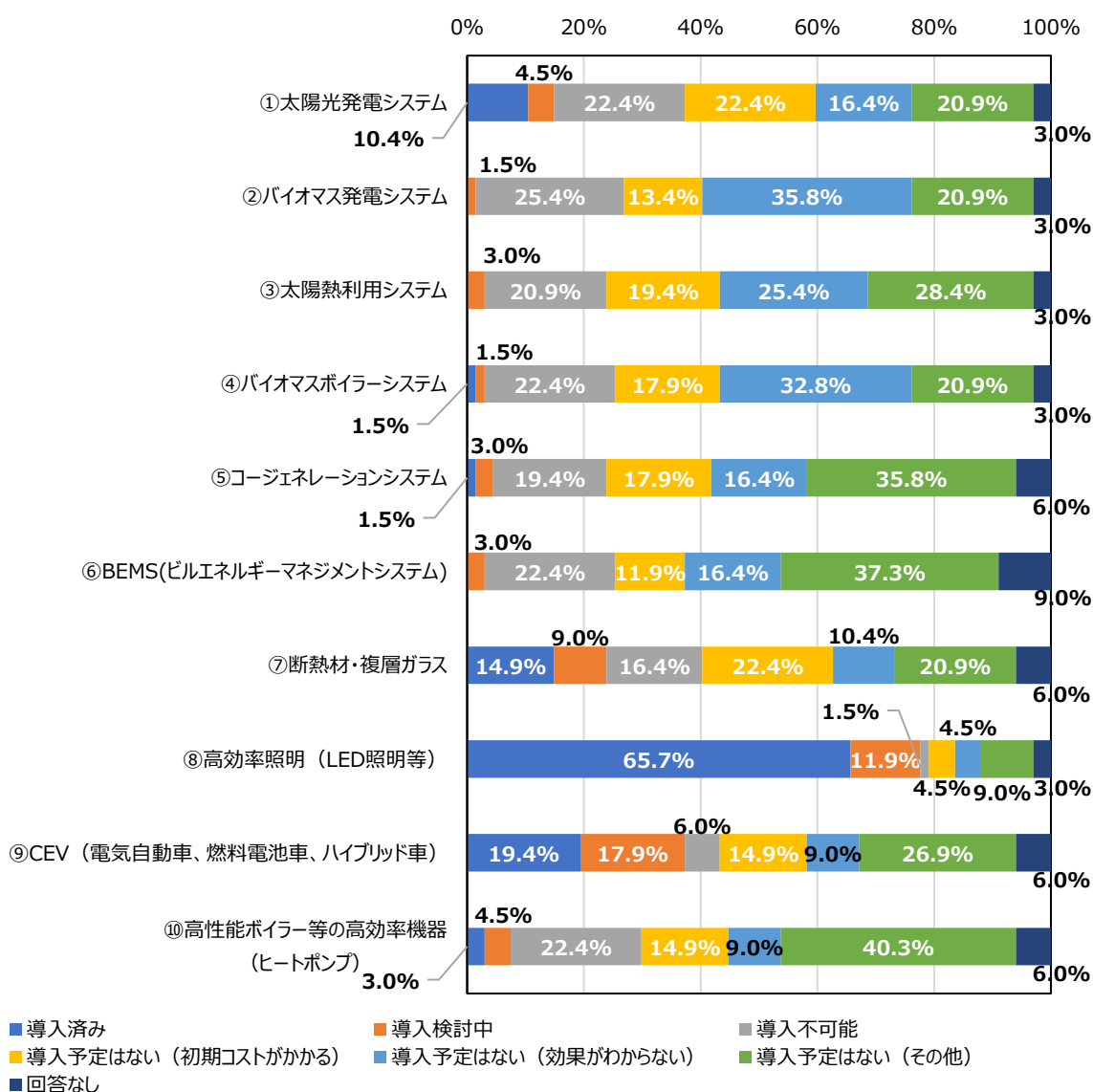
（どちらの回答も、どのような目標であるかの詳細は不明であった）

(n=2)

【質問 5】 省エネルギー及び再生可能エネルギーに係る設備、システム等を導入していますか。

・ 導入済みの設備については「⑧高効率照明（LED 照明等）」、「⑨CEV（電気自動車、燃料電池車、ハイブリッド車）」、「⑦断熱材・複層ガラス」の順で多かった。
 ・ 何らかの理由で導入する予定はない設備について、「③太陽熱利用システム」が 73.1%で最も高く、次いで「④バイオマスボイラーシステム」、同率で「②バイオマス発電システム」と「⑤コージェネレーションシステム」の回答が多かった。

(n=67)



【質問 5 追加質問】（※質問 5 の ①太陽光発電システム、②バイオマス発電システム、③太陽熱利用システム、④バイオマスボイラーシステムで、「1. 導入済み」と回答した方のみ）それぞれ、自家消費用に設置しているシステムの容量または年間の利用量をご回答ください。

① 太陽光発電の設備容量、発電電力量

【回答】

- ・ 設備容量 (kW) : 20, 60
- ・ 発電電力量 (kWh) : 100, 20,000, 31,000

※7 事業所が質問 5 で「導入済み」と回答したが、具体的数値での回答は上記のみ。

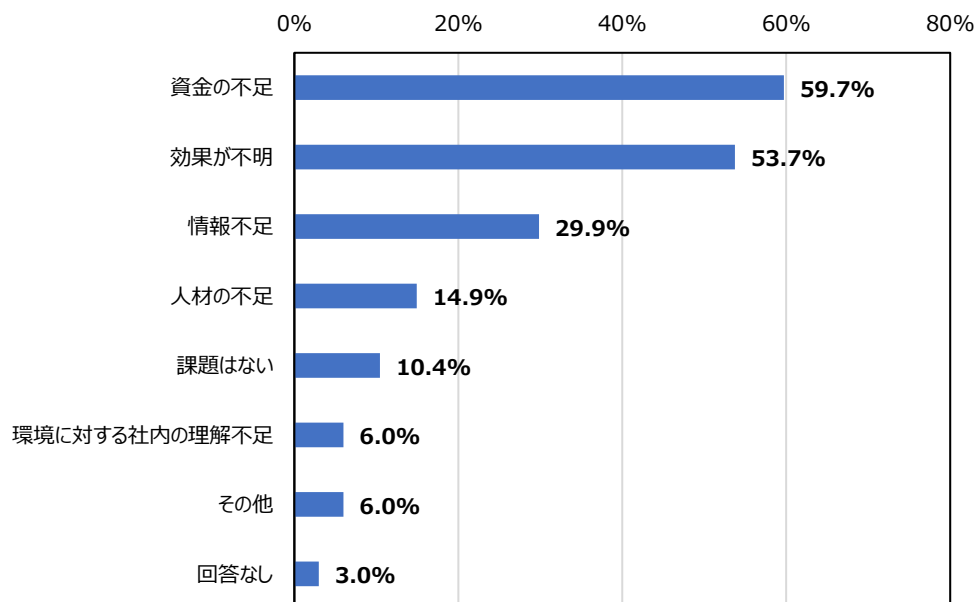
(n=7)

※②バイオマス発電システム、③太陽熱利用システムは質問 5 において「導入済み」と回答した事業所はなく、④バイオマスボイラーシステムについては「導入済み」と回答した 1 事業所において利用量の記載がなかった。

【質問 6】貴事業所において、省エネルギー・再生可能エネルギーに係る設備等の導入を進める上で課題となっていることは何ですか。（複数回答可）

- ・ 環境対策を進める上での課題について、「資金の不足」が 59.7%で最も多く、次いで「効果が不明」、「情報不足」であった。

(n=67)

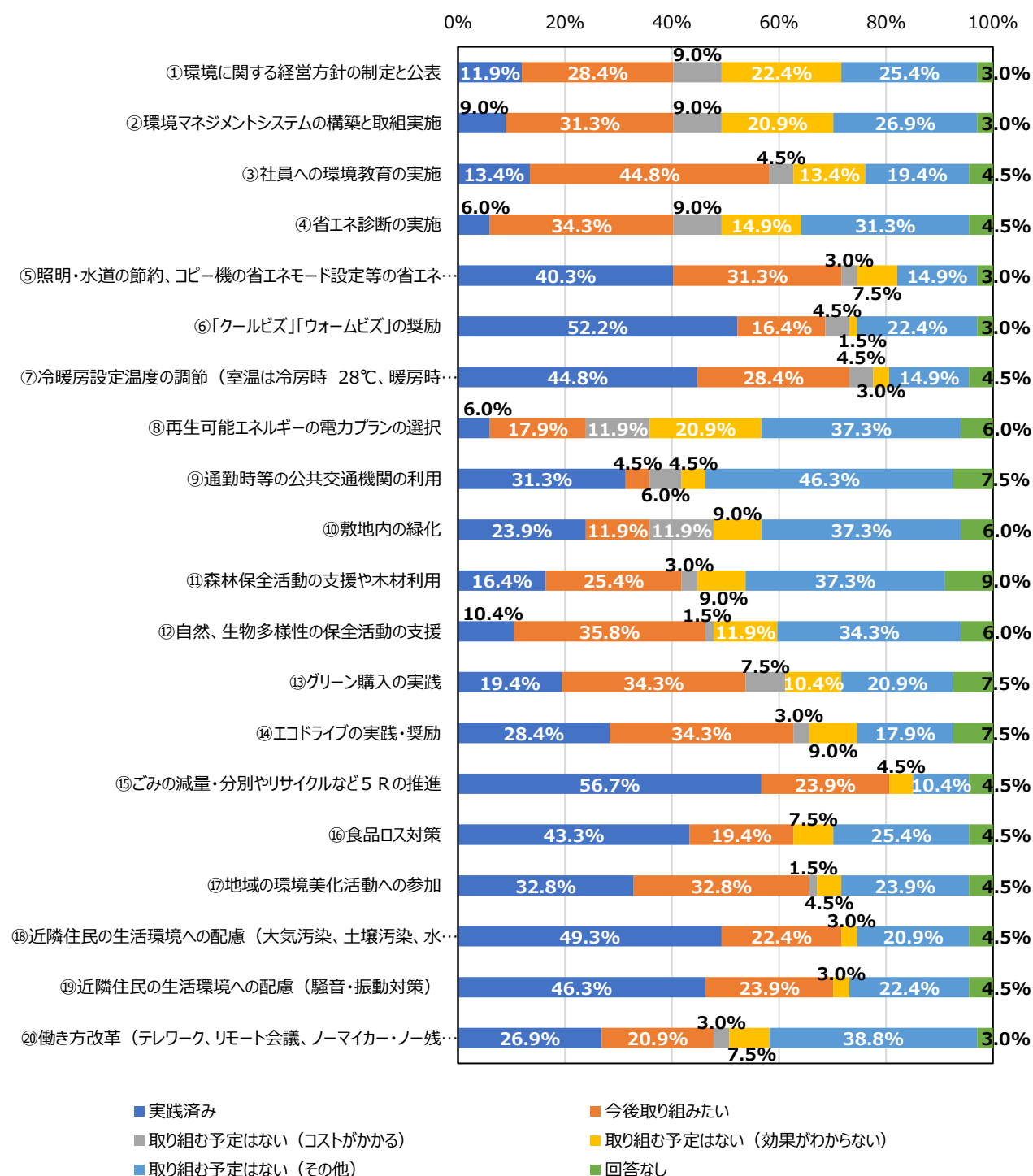


【質問 7】 貴事業所で実施している、あるいは今後実施する予定の環境に配慮した取組はありますか。（テナントとして入居している場合は、専有部内での実施状況についてご回答ください。）

・実施済みの取組について、「⑮ごみの減量・分別やリサイクルなど 5 R の推進」、「⑥「クールビズ」「ウォームビズ」の奨励」、「⑱近隣住民の生活環境への配慮（大気汚染、土壌汚染、水質汚染等の公害防止）」の順で多かった。

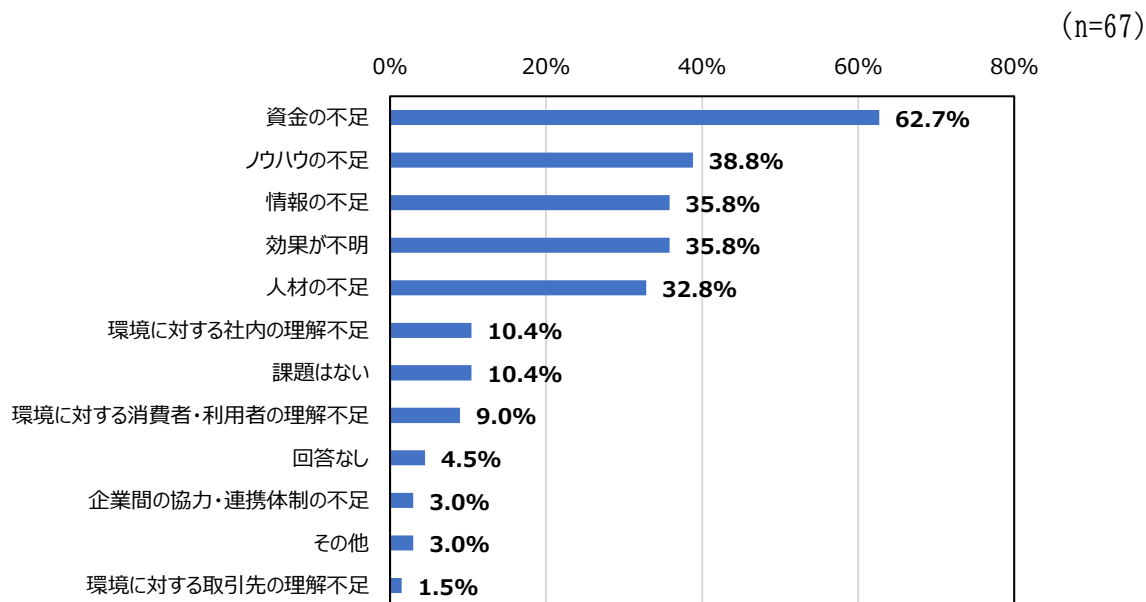
・何らかの理由で取り組む予定はない取組について、「⑧再生可能エネルギーの電力プランの選択」が 70.1%で最も高く、次いで「⑩敷地内の緑化」、「①環境に関する経営方針の制定と公表」の回答が多かった。

(n=67)



【質問 8】 貴事業所において、環境対策を進める上で課題となっていることは何ですか。（複数回答可）

・環境対策を進める上での課題について、「資金の不足」が62.7%で最も多く、次いで「ノウハウの不足」、「情報の不足」であった。

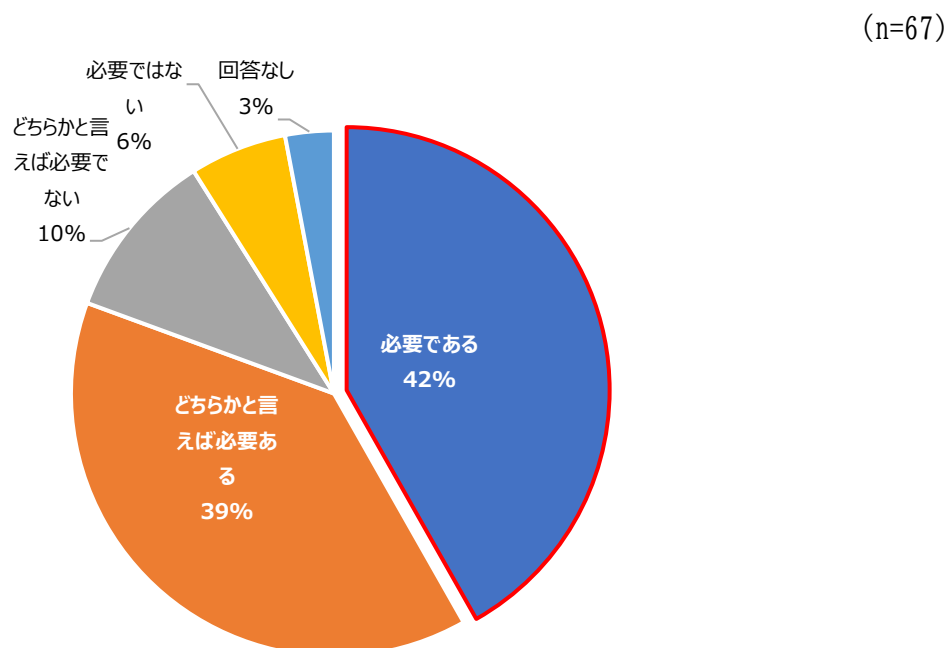


【その他】

- ・日本はすでに実施している。行動制限につながる。
- ・利権が絡むものに興味は無い

【質問 9】 環境対策を進める上で産学官民連携は必要だと思いますか。

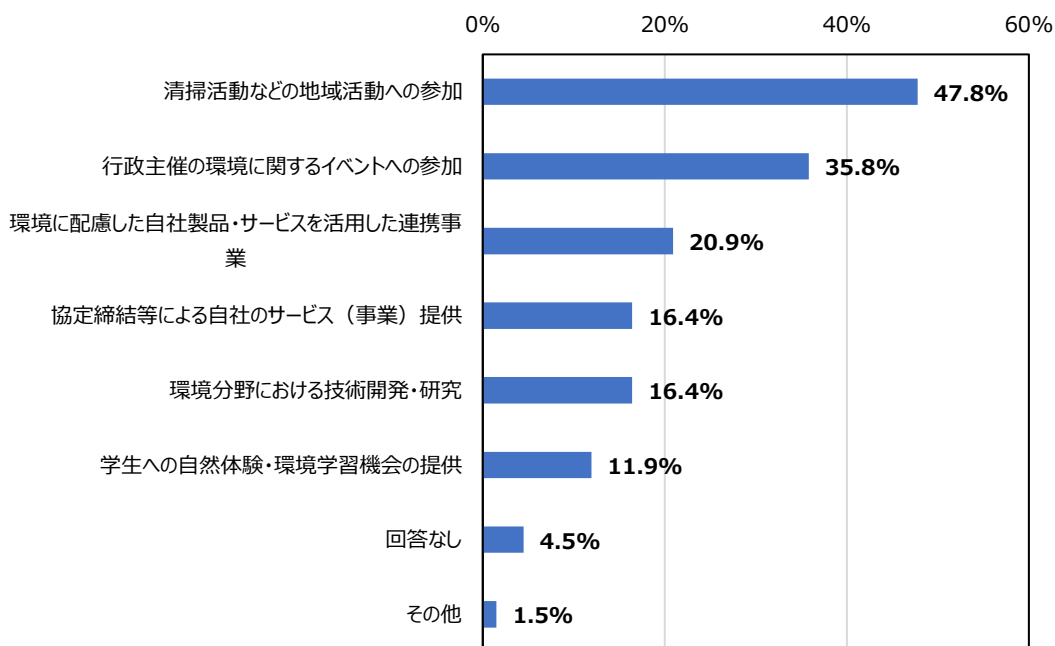
・環境対策を進める上での産学官民連携の必要性について、「必要である」、「どちらかと言えば必要である」と答えた回答者は全体の81%であった。



【質問 10-1】産学官民連携による環境対策で実施したい取組について、該当するものをすべて選択してください。（複数回答可）

・産学官民連携による環境対策で実施したい取組について、「清掃活動などの地域活動への参加」が47.8%で最も多く、次いで「行政主催の環境に関するイベントへの参加」、「環境に配慮した自社製品・サービスを活用した連携事業」であった。

(n=67)

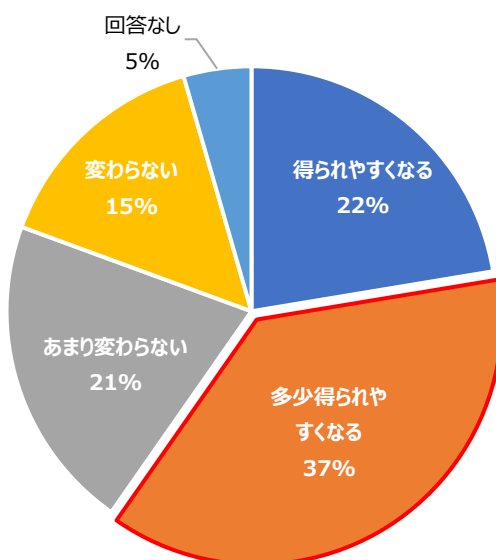


【その他】
・特になし

【質問 10-2】市との協定を締結することで、環境への取組に対する社内合意が得られやすいと考えますか。

・市との協定を締結することで、環境への取組に対する社内合意が「得られやすくなる」または「多少得られやすくなる」と答えた回答者は全体の59%であった。

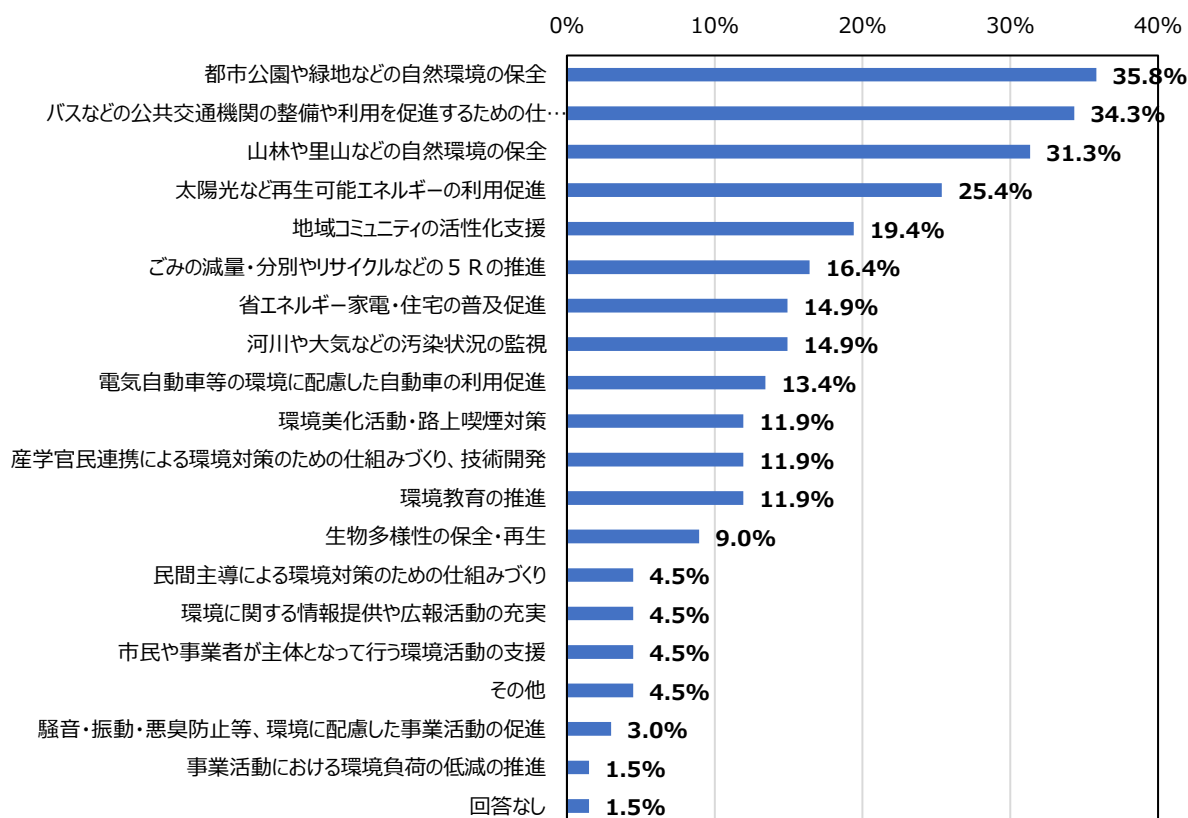
(n=67)



【質問 11】生駒市の環境をより良くするために、市が重点的に取り組むべき環境対策はどれだと思いますか。該当するものを“3つまで”選択してください。

・生駒市が重点的に取り組むべき環境対策について、「都市公園や緑地などの自然環境の保全」が35.8%で最も多く、次いで「バスなどの公共交通機関の整備や利用を促進するための仕組みの充実」、「山林や里山などの自然環境の保全」であった。

(n=67)



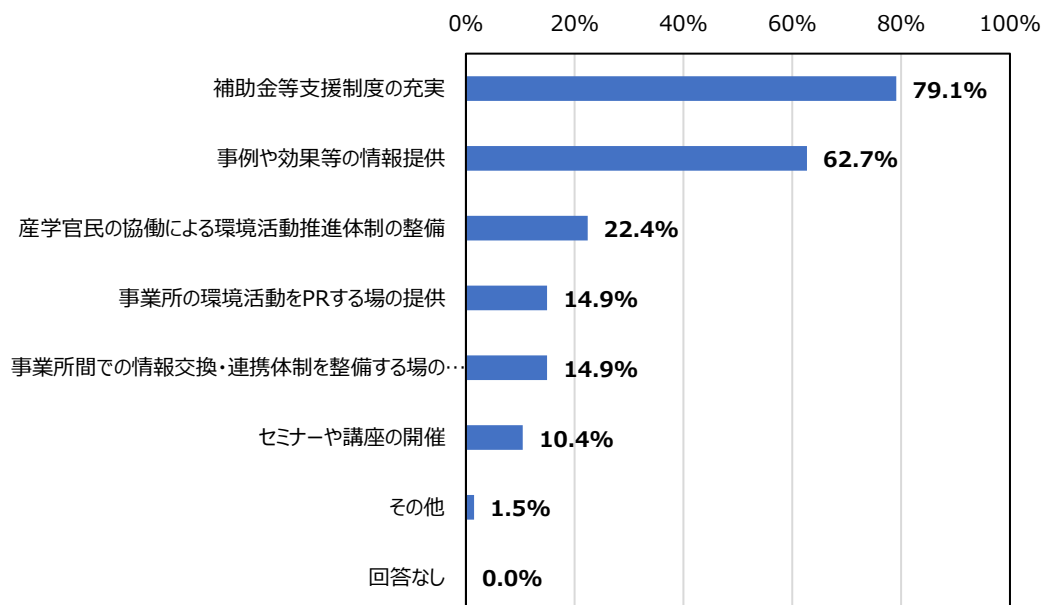
【その他】

- ・特になし
- ・山林などのゴミ廃棄などあまり目に付かない所へも対応受付の設置
- ・騒音・振動・悪臭防止・大気汚染等、環境に配慮した事業活動の促進

【質問 12】貴事業所が、環境に配慮した取組を進めるうえで、市に行ってほしい取組は何ですか。該当するものを“3つまで”選択してください。

・生駒市に行ってほしい取組について、「補助金等支援制度の充実」が79.1%で最も多く、次いで「事例や効果等の情報提供」、「産学官民の協働による環境活動推進体制の整備」であった。

(n=67)



【その他】
・特になし

以上